

10年を新たなスタートに! 阿蘇の文化力・地域力を高める!



新春対談

阿蘇市文化協会会長 小嶋 維男
×
阿蘇市長 佐藤 義興

新しい年平成27年(西暦2015年)がスタートしました。今年には阿蘇市が合併により誕生して10年、文化協会が統合されて10年の節目となります。そこで新春企画として、阿蘇市文化協会小嶋会長と阿蘇市佐藤市長との新春対談を行い、2015年の文化・地域の力を切り口に大いに語っていただきます。

人と自然が阿蘇の魅力

小嶋 新年あけましておめでとうございます。

佐藤市長の文化協会に対するご理解とご協力に感謝し、本年も引き続きのご理解とご協力をよろしくお願い致します。

さて、阿蘇の文化と言えばなんとといっても、その雄大な自然、草原、景観、さらにはその全体が醸し出す空気に誘われ、訪れる文化人の創作意欲を掻き立てるものをもっていると思います。

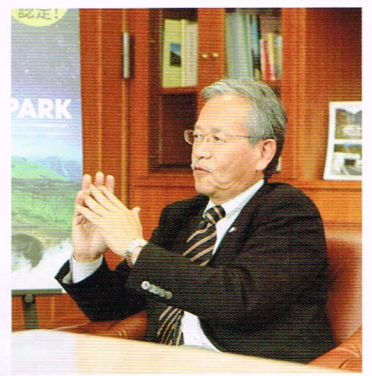
映画、絵画、小説・短歌・俳句、写真など、それぞれの分野で阿蘇をテーマとした素晴らしい作品があります。また阿蘇ファンがたくさんいます。

地域・地区では波野の中江岩戸神楽、横堀岩戸神楽を筆頭にそれぞれの地域に根付き脈々と受け継がれていますし、衣食住を中心とした伝統文化があります。市長の文化力や阿蘇文化の魅力などについてお聞かせください。

佐藤 明けましておめでとうございませう。本年もよろしくお願ひ致します。

文化について申し上げれば、文化というのはアカデミックで難しいものでなく、原点は土の香りや暮らしの匂いがし、育まれてきたのが文化ではないかと思っております。

阿蘇の場合は、この火山とカルデラが作った環境に人が住み暮らし、生活の中で生まれた沢山の宝があります。その魅力に惹かれ、また人間が本来持っているものがこの阿蘇に残っているから、夏目漱石や山頭火などが訪れたいと思ったのではないのでしょうか。



先人たちが歴史と自然に向き合い、共存共作し創り上げた農耕祭事、神楽、牛舞、虎舞など貴重な文化が阿蘇には根付いています。

文化は人の和や地域を磨く

小嶋 災害時のボランティアをはじめ、多くの方たちがこの阿蘇を訪れています。

なぜ、来られるのか、やはり阿蘇の魅力や阿蘇が大事だと思う気持ちに駆り立てられることが大きいと思いますね。

佐藤 多くの方が来られるのは、心に響く故郷的なものがこの阿蘇にあるのではないのでしょうか。だから何の抵抗もなく入ってこられると思います。

これからもっともって培われた阿蘇の文化を検証して高めていかねばなりません。



そのためには更に人が特に大事になります。人それぞれの文化の価値がある中で共通する文化を大事にすることで、人の和や地域が磨かれると思います。

縦と横の広がりを 目指す文化祭

小嶋 まさに人が大事ですね。文化協会も文化を通じて人との交流に取り組んでいます。会員約1,000名、文化祭には2日間延べ約3,000名の参加を得ています。一昨年より阿蘇市出身のアーティストの作品展示を行うなど、各分野での作品レベルも向上してきています。実感しています。

今後は、他団体や子ども芸術祭などの催しとの連携を行った横の広がりや文化祭に出演いただいた阿蘇中央高校書道部の書吟、波野中学校神楽クラブなどとの繋がりを大事にした縦の広がりを強めていきたい。

さらには、この10周年を区切りとして文化協会10周年記念誌の発行や、阿蘇市文化祭前夜祭を開催し、阿蘇市内各界・各分野で活躍されている皆さんとの交流を図り、阿蘇市全体で文化が持つ力を高める取り組みをしていきたいと考えています。

佐藤 文化祭の役割は重要ですね。今後は各団体の協力など連携を強化することやプログラムに若い人たちのグループ参加を取り入れることや、阿蘇市出身アーティストの作品コーナーなども工夫したら良いのではないのでしょうか。いずれにしても時間がかかっても新しいことを取り入れる試みは続けることだと思います。

第9回阿蘇市文化祭

地理的な面でもメイン会場とサブ会場を作ることにより、文化はイコール仕事や生活を営むことになり、ますます重要で、市としても文化協会との連携を強め、企画力・発信力を高めたいと考えます。

発足10年を迎え、さらに楽しみながら磨くことが、阿蘇の文化の魅力が増すことになると思います。

阿蘇全体で集い 楽しむセンターを

小嶋 文化活動を楽しみながら頑張っておられる方は皆さん元気です。さらに元気をアップするため、やはり核になるものが必要ではないかと思っています。今後のイベントや文化の広がり考えた時に、豪華ではなくともホールがあればなと思います。阿蘇医療センターも完成しました。7・12の復旧・復興の

目途が付いたら、是非、市民が気軽に集い、楽しく文化活動が出来る文化ホールの実現を目指したいと思っています。

世界農業遺産、世界ジオパークと認定され、引き続き世界文化遺産の登録を考えた時、最低限必要な施設になるのではないのでしょうか。

この阿蘇市で教育・文化・医療・福祉の分野が今以上に充実できれば、もっともっと愛され、多くの人たちが集う地域として

発展する阿蘇市になるものと確信しています。

佐藤 発表の場の充実を図る必要がありますが、今考えているのはPFI方式(民間方式)で出来ないかということを描きながら、使い勝手の良いものを民間の力を借りて出来ないかと思っています。

文化協会の皆さんの文化ホールに対する熱い想いは充分承知しています。阿蘇全体を包括地域として運営できないかという

ことも頭に入れて考えています。文化力を高めることは、地域力を高めることにつながることは事実ですから皆さんのご意見も頂きながら、しっかりと対応していかなければならないと思っています。

小嶋・佐藤 今日はありがとうございました。新しい2015年阿蘇市と文化協会が連携をより強め、楽しく輝く阿蘇づくりに努力していきましょう。

第9回阿蘇市文化祭(第56回熊本県芸術文化祭参加は延3,000人を超える参加者が集い、成功裡に終わることができました。

特に、本年はアトラクションは阿蘇中央高校書道部による書吟と波野中学校神楽クラブによる演舞が行われ、参観者に大きな感動を与えました。

今回は第9回文化祭を振り返ること、各団体の2015年に臨む決意や想いについて投稿を行っていただきました。新しい2015年、皆さんも人生の1頁を彩る新たな文化の取り組みを始めてみませんか。



■詩吟に思う

香雲堂阿蘇中央本部
宮本規伊子

詩吟を始めて早や五年、やっとその道のスタートラインに立ったような気がします。私は現在、水田三へクタイトルを耕作している一人暮らしの農婦です。

その人生の今を支えているのが、真に詩吟なのです。教室に行くや生徒さん達との語らいの中に、自分の指標となる言葉を発見したりして私の心が大きく膨らみます。

文化祭では、母と合吟を詠じ貴重な体験ができたことを大変嬉しく思っております。その母も認知症を患って・・・。

■ダンスは一滴のエッセンス

立石ダンス教室生涯学習
渡辺 玲子

子育て終了後にダンスに出会った仲間が大半の私達ですが、昨年一年も月に二回の練習で、コンペ・文化祭・クリスマスパーティーと楽しめました。今年も、もう少しレパートリーが増えるよう努力します。これからも残りの人生にわくわくのエッセンスを加えていきます。



■輝かしい年に向けて

コール・アマローン
伊東さかえ

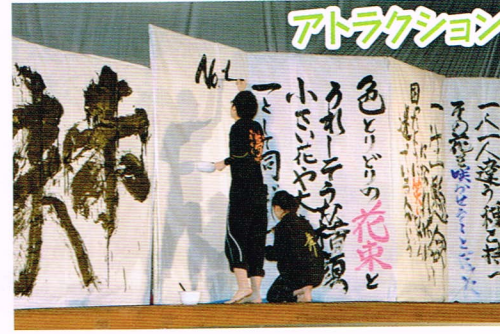


九年前、阿蘇市より大極拳十回コースの案内があり参加してみました。優しい松本先生の指導のもと、ストレッチで十分程身体をほぐし深い呼吸をしつつ、バランス感覚も良くなり、体調にも良いと実感しております。

■ゆつくりと大極拳

山口 義博





■書吟

阿蘇中央高校書道部
市原 慶拓

今回の文化祭においては、現在のメンバーとしては初めての書吟でした。二年生が少なく、また一年生は全員が特進コースを選択しているということもあり、集まって練習することが難しかった中で、文化祭に会場した方々を感動させることができるような書吟を目指して日々練習を重ねました。

当日には阿蘇市長の佐藤様や実行委員長の小嶋様、パネルを支えてくださった実行委員の方々など、多くの協力を頂いて書吟を行わせていただきました。そのおかげで素晴らしいものになったと思っています。

私達阿蘇中央高校書道部は、一丸となつて皆様に素晴らしい書を披露できるよう、これからも精進していきます。

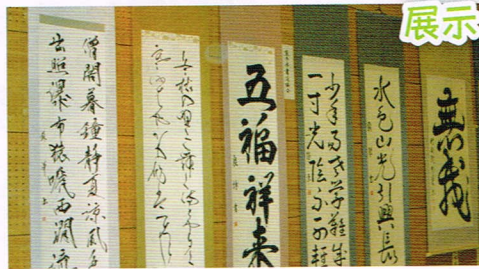


■新しい年を迎えて

波野中学校神楽クラブ
三年 佐藤 大地

昨年は様々な場所で公演させていただきありがとうございました。私達の願いは一人でも多くの方に神楽を見て喜んで頂くこと、そして波野を元気にすることです。今後も皆様に応援して頂けるよう精一杯頑張ります。どうぞ期待ください。

■展示



■書道教室「そよ風」

松下 玲子

昨年の文化祭には、教室のみならず、出の和布に、一人ひとりの手作りで作成した展示していただきました。これからも、阿蘇に住む私達が歴史や文化を守り、次世代へ継承できるように、手を取り合っていきたいと思っております。



■阿蘇写友会

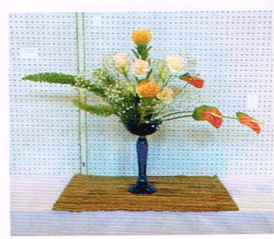
阿蘇写友会は現在9名の会員で撮影に頑張っています。毎年の文化祭や観月会等の催しにも積極的に参加協力しています。二〇一四年には世界ジオパークに認定された世界の阿蘇を今後も撮り続けたいと思います。



■絵手紙をありがとう

城野 春代

落葉の絨毯を踏みしめながら、おしゃべりに話はずむ。霧立越を縦走して楽しかった余韻さめやらぬ頃、絵手紙が届いた。「人を喜ばせるのが好き」の言葉どおり趣味多彩なJさんから。メールや電話ですませるこの頃だが、その人を想い一筆一筆に心のこもった心づかいがうれしかった。



年となるよう頑張りたいと思えます。



市民と会員に 支えられた文化祭

阿蘇市文化協会
事務局長 下村 勝志

文化協会が発足して10年を迎えました。文化協会の一大事業でもあります文化祭も第9回を迎え、会員数も1,000人位になりました。会員による手づくりの文化祭も工夫を重ねてまいりました。

まず昨年は、ステージ部門でアトラクションを2日間実施しました。

1日目は阿蘇中央高校書道部による書吟〈未来の種・希望の花〉をテーマにサプライズを交え発表していただきました。

2日目は波野中学校、神楽クラブの皆様による子ども神楽で舞台に感動と若さはつらつとした風を感じさせていただきました。

また、展示部門では、特別展示として絵画では川口もと子先生(日展入選8回)を、書道では井上邦子先生(日展入選4回、日本書芸院大賞受賞2回)の作品を展示させていただき、会員の意識の高揚にもつながったと思います。

観客の皆様にも、大変喜んでいただきました。2日間の観客が約3,000人以上で年々増加しております。

それから、番組の一番最後に全員で合奏(コール・アモロソ指導)〈阿蘇ものがたり〉が市民に認知されてきたように思います。

会員の皆さん大変ご苦労様でした。

本年は発足10周年を記念して、文化祭前夜祭も考えております。ご協力よろしくお願いたします。

生徒・児童の展示作品

時代を担う生徒・児童の皆さんの学校単位での展示作品です。総て反映されていませんが、次回の展示も期待しています。



会員募集

いつでも誰でもお気軽に多数の入会をお待ちしています

阿蘇市文化協会では、平成27年度会員を募集しています。阿蘇市内の文化サークル、グループ、個人など、どなたでも入会できます。この機会に文化協会に入会され、文化のネットワークを絆として結び、それぞれの活動を充実した活動にとレベルアップしてみませんか。

〔連絡先〕 阿蘇市文化協会事務局 電話 0967-22-2223 (下村)

2015年 活動予定

- 6月 … 役員研修会
- 9月 … 観月茶会
- 10月 … 一般研修会
- 11月 … 第10回文化祭と前夜祭



◀ 観月茶会風景

- 広報委員会
委員長 伊東 文生
副委員長 西村 伎久乃
委員 小嶋 かず子
委員 今村 百合子
委員 城井 郁代

噴煙の編集方針は「読みやすい」「目で見れる」「紙面が語りかける」などを基本にしながら委員会として知恵を絞っています。今18号では、この方針をベースに新しい年2015年への意気込みが伝わるような編集を行いました。その意図が伝わっているでしょうか。トップ記事は会長と市長の阿蘇を愛し、さらに文化力を高める考えをお聞きし、阿蘇に住む人々に両トップの熱き想いが伝わったことと思います。2、3面では第9回文化祭の実績を写真で紹介し、各分野で頑張る皆さんの想いを伝える意図です。残念ながら記事総数が不足しましたが、投稿いただいた皆さんのそれぞれの想いが披歴されています。阿蘇の文化をこれから皆さんに広く伝え、文化の創造力や発信力がさらに高まることを期待しながら、これからも噴煙の発行に努めていきます。



編集後記